

## I 設問

- Q1 何県にお住まいですか？海外の方は国名をお書きください。
- Q2 年齢を教えてください。（選択式）20代／30代／40代／50代
- Q3 お子さんは何人ですか？（選択式）1人／2人／3人／4人以上
- Q4 いちばん小さいお子さんの年齢は何歳ですか。（選択式）0～3歳／4～6歳（未就学児）／小学校1～3年生／小学校4～6年生／中学生以上
- Q5 美術系大学のご出身ですか？（在学中を含む）（選択式）はい／いいえ
- Q6 仕事をされている方は、可能な範囲でお仕事の内容を教えてください。（記述式）
- Q7 出産後、作品制作の環境は変わりましたか？（記述式）
- Q8 作品制作時間はどう捻出していますか？（記述式）
- Q9 あなたが持っている時間を100とすると母親としての時間、仕事の時間、作家としての時間の配分はどうなりますか？（記述式）
- Q10 居住されている地域で、作家として活動できる環境はありますか？（記述式）
- Q11 作品制作を継続するためには何が重要だと考えますか？特に優先順位の高いと思うものを2つ選択してください。（選択式）家族の協力／ひとりの時間／収入／美術に関する仕事への就労／仲間の存在／その他
- Q12 子どもの手が離れたら、どのように活動をしていきたいですか？（記述式）
- Q13 子育て中の女性アーティストの課題について、そのほか気になっていることなど、自由にお書きください。（記述式）

※個人の特定を避けるため、Q1の個別回答については海外の場合のみ記した。また回答によって個人が特定される可能性がある記述については、言い回しの変更や削除など筆者が修正を加えた。

## II 回答

### （回答1）

- Q2 30代
- Q3 1人
- Q4 0～3歳
- Q5 美術系大学
- Q6 無回答
- Q7 出産を機に大学の仕事を退職。産後夫の転勤に伴い制作環境が整わず、約3年制作活動を休止。
- Q8 子供が保育園に行っている時間。
- Q9 母親50、作家50
- Q10 自分次第
- Q11 家族の協力、ひとりの時間
- Q12 遠方にも迷いなく活動の幅を広げたい。
- Q13 無回答

### (回答 2)

- Q2 50代以上
- Q3 2人
- Q4 中学生以上
- Q5 美術系大学以外
- Q6 立体造形、イラストレーション
- Q7 無回答
- Q8 子どもが小さかった頃は 子どもが寝ている時。家事を放棄。
- Q9 仕事と作家が重なっているので、母 40 作家 60。
- Q10 どんどん減っていつている。
- Q11 家族の協力、美術に関係する仕事への就労
- Q12 子どもが居るからこそ作る、描くができたように思うので、手が離れても その時の想いと共に住んでいるところより少し遠くで発表してゆきたい。
- Q13 個展初日やイベント時に子どもの体調が悪くならないよう、子どもの行事などと重ならないよう ...が、課題でした。現実と作る時間の行き来に苦労します。が、子どもからもらえるものはとても面白いので使わない手はないですね。いまは、子どもを育てながら制作されている方がものすごく増えたように思います。すごいなあと思っています。

### (回答 3)

- Q2 30代
- Q3 1人
- Q4 0～3歳
- Q5 美術系大学
- Q6 ギャラリー
- Q7 海外、地方にレジデンスに行けなくなった。
- Q8 自営業としてアーティスト活動の時間をとってる。
- Q9 仕事 30 作家 30 母親 40
- Q10 難しいと思っていたものの、最近できるようになってきました。
- Q11 家族の協力、ひとりの時間、収入、美術に関係する仕事への就労、仲間の存在
- Q12 子供がいることで分かったことを活かした活動や若いママアーティスト達を支援したい。
- Q13 制作を続けてほしい。日本は子供ができると仕事ができないと思う人が沢山います。子供がいる事も強みになるので子育て世代のアーティストにがんばってもらいたい。

(回答4)

- Q2 30代
- Q3 2人
- Q4 0～3歳
- Q5 美術系大学
- Q6 伝統工芸
- Q7 制作する場所の確保が難しかった
- Q8 仕事の休みの日に子どもが保育所へ行っている時間に
- Q9 母60 仕事30 作家10
- Q10 あります。作品を置いてくれるお店があります。
- Q11 家族の協力, ひとりの時間
- Q12 大きなものを作りたい、個展をしたい
- Q13 制作の継続の為に必要なものの項目がどれも必要で回答に迷いました。収入と仲間の存在も重要です。子育てだけで疲れてしまう毎日の中、制作のモチベーションを維持することが課題です。

(回答5)

- Q2 30代
- Q3 1人
- Q4 0～3歳
- Q5 美術系大学以外
- Q6 教員
- Q7 いいえ
- Q8 子どもが寝たら
- Q9 98.1.1
- Q10 自分のやる気次第
- Q11 家族の協力, 収入
- Q12 仕事も退職したら絵を描いたりしたい
- Q13 仕方がないことだと思う、子育てに専念することもその後制作の糧になると思う

(回答6)

- Q2 40代
- Q3 1人
- Q4 0～3歳
- Q5 美術系大学
- Q6 講師、自営業
- Q7 大きく変わった
- Q8 寝ずにやった時のみできる
- Q9 30:70:5 寝ずにやった時のみできるので100を超える状況に感じる
- Q10 あまりないので拠点を作るに至った
- Q11 家族の協力, ひとりの時間, 収入, 美術に関係する仕事への就労, 仲間の存在
- Q12 東京などアート活動の場がある所へもっと通えるようにしたい
- Q13 周りがもうやめた人のような扱いをするのを苦虫をかみつぶすような思いで見ている。地方住みで子育てをすると何重にも隔離された気分になる上に周囲の扱いに立腹する。

(回答 7)

- Q 2 40代
- Q 3 1人
- Q 4 中学生以上
- Q 5 美術系大学以外
- Q 6 陶芸
- Q 7 独立する前だったので特に大きな変化はありませんでした。
- Q 8 家にずっといますので家事以外の時間は制作にあてています。
- Q 9 今は子供も大きくなりましたので大体、母親 30：仕事 70 の比率です。
- Q 10 ギャラリーも多いので有難い環境です。
- Q 11 家族の協力, 収入
- Q 12 今とあまり変わらないと思います。
- Q 13 無回答

(回答 8)

- Q 2 20代
- Q 3 1人
- Q 4 0～3歳
- Q 5 はい
- Q 6 美術教師
- Q 7 はい
- Q 8 親や旦那が見てくれている間
- Q 9 母(主婦)90 作家 10
- Q 10 ある
- Q 11 家族の協力, ひとりの時間
- Q 12 制作に使用する素材の石膏やガラスなどどうしても粉が気になり、触るのを控えていたので、そういった作業がしたい。
- Q 13 家からでる機会がすくないので、同じような立場の人とネット上で情報交換できれば嬉しいです。

(回答 9)

- Q 2 30代
- Q 3 2人
- Q 4 0～3歳
- Q 5 美術系大学
- Q 6 設計
- Q 7 変わった
- Q 8 捻出できていない
- Q 9 5 0:5 0:0
- Q 10 無い
- Q 11 家族の協力, 収入
- Q 12 工房を持ってクラフトフェアを中心に作品を売りながら個展を一年に一度くらいのペースで行う
- Q 13 無回答

**(回答 10)**

- Q2 30代
- Q3 1人
- Q4 0～3歳
- Q5 美術系大学
- Q6 パート
- Q7 主に自宅の机に変わりました
- Q8 託児して作業か、子供が寝てから
- Q9 70 母親 25 仕事 5 作家
- Q10 ある
- Q11 家族の協力, ひとりの時間
- Q12 作品制作に没頭したい
- Q13 今までの人生で一番自由時間がない

**(回答 11)**

- Q2 30代
- Q3 2人
- Q4 0～3歳
- Q5 美術系大学
- Q6 教育
- Q7 はい
- Q8 子どもを寝かせてから、または職場で
- Q9 20:75:5
- Q10 探せばある
- Q11 自分のやる気
- Q12 ワークショップを開催したい
- Q13 無回答

(回答 12)

- Q2 30代  
Q3 1人  
Q4 0～3歳  
Q5 美術系大学  
Q6 作家活動  
Q7 環境は変化なし  
Q8 保育園に標準時間で託児  
Q9 母親 30 家事 30 仕事 40  
Q10 比較的保育園に入園しやすいが、夫婦の両親が共に遠方のため、どうしても助けが必要な時に、どうしてもできない時がある(子供の発熱による呼び出し時に、夫婦とも外せない仕事など)  
Q11 家族の協力, 収入  
Q12 育児中は取り組めなかった規模の大きい展覧会やレジデンス、海外での展覧会など  
Q13 会社員のような一定の時間内で仕事をするだけでなく、プライベートと仕事をはっきりと区別がつかない状態で、仕事を進めていかなければならないので(作品やアーティストのタイプにもよりますが)、また、一時的にでも他の人に代わってもらえるような仕事ではなく、展覧会などを開催するまでに、子供に関する予定外のことも多く、作品の進展や納期なども含め精神面での自己管理を上手く行う必要があります、非常に大きな不安やストレスを抱えていること。このような状態で本来であればやりたい展覧会のオファーなども、子育て期間はセーブしなければならないかと、子供ともっと向き合いたいという気持ちとの葛藤があります。また発表活動自体も経済的な収入に繋がりにくいため、補償もなく子供の将来も含め将来の不安を感じます。また子育て期間中に発表が滞ることで、数年後に果たして活動を行うことができるのかという不安も大きく、もうけたい子供の人数や時期も躊躇してしまいます。

(回答 13)

- Q2 30代  
Q3 1人  
Q4 0～3歳  
Q5 美術系大学  
Q6 陶芸  
Q7 環境はあまり変わらない  
Q8 子供を保育園に預けているおおよそ9～17時の間に仕事をしている  
Q9 活動時間中、仕事・制作 60～70:母 40～30(時期による)  
Q10 最近は少しずつ増えてきました  
Q11 家族の協力, 仲間の存在  
Q12 基本的には今の時間配分を継続して行きたい  
Q13 出産して子供を持つ場合は、何にせよ家族や周囲の理解と協力は必要になると思います。

(回答 14)

- Q2 20代  
Q3 1人  
Q4 0～3歳  
Q5 美術系大学  
Q6 専業主婦  
Q7 制作時間や費用など考えることが増えた  
Q8 寝かしつけた後か起きる前の早朝。旦那さんの休みの日に少し。  
Q9 母親 70 仕事 20 作家 10  
Q10 まあある  
Q11 家族の協力, ひとりの時間  
Q12 作品の出品、販売などして生活を制作に寄せて行きたい。  
Q13 主婦や子育ては目に見えるお金というところに繋がらない。さらに、美術制作や活動は遊びと思われ  
る事が多く(実際に言われる)、現在アーティスト自身が自信をもって時間を作り、活動しづらいという事がある。  
母親業をする人が自信をもって社会に参加しているという実感を持てれば、制作に割く時間を作り易い  
のではないかと考えている。

(回答 15)

- Q1 国内と海外  
Q2 40代  
Q3 1人  
Q4 0～3歳  
Q5 美術系大学  
Q6 美術家  
Q7 制作時間とスペースに限られる。海外の拠点では、自宅とアトリエが離れていることもあり、頻繁に行く  
ことができなくなった。  
Q8 早朝、夜間、娘の一時保育の日に集中して作品制作している。  
Q9 母親としての時間：65, 仕事/作家：35  
Q10 国内：自宅で作業。ギャラリーと仕事をしていても、美術家という職業が社会で認知されにくい。  
海外：アトリエで作業、ギャラリーと仕事し、アートマーケットが大きいので作品の売買が定期的にある。  
比較的芸術が社会に許容されている。  
Q11 家族の協力, 制作への意思とモチベーション  
Q12 今も既に移動が多いとはいえ、国を越えた滞在制作や展覧会での長期滞在も続けて行きたい。  
Q13 女性が家庭の全てをするのではなく、夫と協力して家庭や仕事をフェアに分担することが、自立と時間の  
確保にとって大事である。子育て中の女性アーティストにとって、家族の協力は欠かせない要素だと思う。  
安定した収入は難しいとはいえ、作品制作が経済的な収入に繋がることは重要である。

(回答 16)

- Q2 30代  
Q3 2人  
Q4 小学校1～3年生  
Q5 美術系大学以外  
Q6 書道家、デザイナー  
Q7 出産後から本格的に活動を始めました。とはいえ、稼ぐこと（教えること）がメインなので、自分らしい創作の時間はとりづらいです。  
Q8 仕事の合間に。  
Q9 4:5.5:0.5  
Q10 色々な手段があると思います。  
Q11 家族の協力, 収入  
Q12 国内外色々なところで活動したい。  
Q13 無回答

(回答 17)

- Q2 40代  
Q3 1人  
Q4 0～3歳  
Q5 美術系大学以外  
Q6 劇作家  
Q7 変わった、不可能なことが多々発生するようになった。  
Q8 捻出できません。  
Q9 「仕事」ということを、「生活費を稼ぐこと」と捉えるならば、母親:生活費:作家が 60: 39.5: 0.5 といった割合です。  
Q10 どのような意味かが捉えづらいのですが、決まったアトリエ、制作場所、雇用環境はありません。同年代の男性に独占されていると強く感じています。「子ども向け」と銘打った環境には身を置きたくないと考えていますが、近い将来、そのような仕事にも手を出さざるを得ないのかもしれないかもしれません。  
Q11 家族の協力, ひとりの時間  
Q12 手が離れる前に、活動をしたいです。「手が離れる」という意味では、子どもが中学生になった時点で私が 50代前半、成人 18歳になった時点で 50代後半となってしまいますので、第一線での活動は難しいのではないかと思います。  
Q13 本当に近い距離での共同作業しか難しいなと考えています。保育園に預けられる時間では、日帰り出張すら困難ですし、「子育て中同士」で時間を合わせようとする、2.3時間といった短時間しか時間が取れないことが多いです。在宅でのリモートコミュニケーションも、子どもがいる環境では難しく、作品の完成が非常に困難になりました。わたしの家庭の場合、祖父母という存在がいなくて、長時間子どもを預けられる環境が無いことも大きいのですが、また、わたしの周囲では、「子どもを産まずに 40代を迎えた女性アーティスト」が非常に多く、そういった方との共同作業の仕方に、精神的な困難さを感じています。「上手くやっている」ロールモデルの方もいません。わたしの場合、舞台芸術という複数人での共同作業が必要な分野のため、対人関係の調整作業は、作品制作に大きく関わります。

**(回答 18)**

- Q2 40代
- Q3 1人
- Q4 中学生以上
- Q5 美術系大学以外
- Q6 演劇
- Q7 とても大きく変わりました
- Q8 息子が学校にいる間、寝た後
- Q9 本番無い時→40 30 30 本番ある時→10 60 30
- Q10 あるが、それだけでは食べられない。
- Q11 家族の協力, 仲間の存在
- Q12 自分の演出作品を海外の演劇祭で上演したい。また、よその劇団に客演したい。
- Q13 私はシングルマザーで実家の協力一切なしでプロの舞台俳優として活動しています。日本では芸術が母親の仕事として受け止められにくいですね。世間の理解と横の繋がりと、両方広がってほしいと願っています。

**(回答 19)**

- Q2 40代
- Q3 1人
- Q4 0～3歳
- Q5 美術系大学以外
- Q6 事務
- Q7 変わった
- Q8 仕事を休んでギャラのある作品のみ
- Q9 40 40 20
- Q10 あるが少ない
- Q11 あるが少ない
- Q12 なるべく持ち出しの少ない作品作りに参加したい
- Q13 無回答

**(回答 20)**

- Q2 30代
- Q3 2人
- Q4 4～6歳 (未就学)
- Q5 美術系大学以外
- Q6 メイクアップアーティスト
- Q7 変わった。
- Q8 義母に子どもを預ける
- Q9 母親 70 仕事 20 作家 10
- Q10 あまりない
- Q11 家族の協力, 収入
- Q12 東京へ頻繁に行ったり、活動の幅を広げる
- Q13 無回答

(回答 21)

- Q2 30代
- Q3 1人
- Q4 0～3歳
- Q5 美術系大学以外
- Q6 医療系
- Q7 変わりました
- Q8 子供が寝ている間や、一緒に。
- Q9 母親 100
- Q10 無回答
- Q11 仲間の存在, 環境
- Q12 そのときにやれることを
- Q13 周りの理解や協力、受け入れ態勢の問題

(回答 22)

- Q2 30代
- Q3 2人
- Q4 0～3歳
- Q5 美術系大学
- Q6 大学事務職員
- Q7 大きくかわりました。
- Q8 こどもが寝ている時間を制作時間にしていきます。寝かしつけると同時に疲れてしまいそのまま眠ってしまうことも多いので、早起き（4時、5時）して制作することが多いです。
- Q9 母親 45 仕事 35 作家 20
- Q10 あります
- Q11 家族の協力, 美術に関係する仕事への就労
- Q12 制作時間を細切れではなく、集中して長時間制作と向き合うような作品制作、サイズ感の大きな作品をつくりたい。
- Q13 ネガティブな意見：時間の確保が難しい。／なかなか制作に集中できない。／作品作りに時間をとると、こどもがやりたいこと（友達と遊びたいなど）を優先してあげることができない（母親としてはこれでいいのかと反省せざるおえない状況になることもある）。／ワークショップを企画してもその日にこどもが熱を出した場合など、様々な状況を想定してしっかりと段取り（誰かに預けるなど）を組んでおく必要があり、考えなくてはいけないことが多く、それだけで疲れてしまう。  
ポジティブな意見：子育てをしていることでうまれる発想や想像があり、作品にもいい影響をあたえる。  
／時間が限られているからこそ、集中力があがる。

(回答 23)

- Q2 30代
- Q3 1人
- Q4 4～6歳（未就学）
- Q5 美術系大学以外
- Q6 事務パート
- Q7 変わった
- Q8 子供が夜寝てから、または早起きして
- Q9 仕事 60 母親 30 作家 10
- Q10 ある
- Q11 家族の協力, 収入
- Q12 あまり考えていませんが、販売できる位のペースと作品をつくりたいです。
- Q13 子育て、仕事が大変すぎて作家活動まで気力が回らない、モチベーションを上げる目的がないと腰が重いのかもと自分自身、感じました。

(回答 24)

- Q2 40代
- Q3 2人
- Q4 0～3歳
- Q5 美術系大学
- Q6 映画監督、アニメーション制作、講師
- Q7 変わりました
- Q8 早起き(21時に寝て2時に起きる)
- Q9 母親 35、作家 25、仕事 40
- Q10 地域密着
- Q11 家族の協力, ひとりの時間
- Q12 海沿いの一軒家に引っ越して自由に制作
- Q13 タスクが多いのは難点でもあるが、タスクを多くすることによって色々なコミュニティと交わり役目が増えるので社会的な制作や活動も実体験に基づいて行える利点。

(回答 25)

- Q2 40代
- Q3 2人
- Q4 4～6歳（未就学）
- Q5 美術系大学以外
- Q6 木彫家、介助業務
- Q7 子供が生まれてからクリエイターを志しましたのでわかりません
- Q8 子供が 保育園に行っている間と、深夜、子供が寝ている間に作っています
- Q9 502525
- Q10 あります
- Q11 家族の協力, ひとりの時間
- Q12 地方のクラフトフェアへの出展などにも挑戦してみたいです
- Q13 夫の協力無くしては成り立たないのでシングルだときついと思います

(回答 26)

- Q2 30代  
Q3 1人  
Q4 0～3歳  
Q5 美術系大学  
Q6 コンサルタント  
Q7 はい。契約のあった演者としてのお仕事は1つを除いて全てお断りせざる得なくなりました。  
Q8 睡眠時間を削る。仕事中合間にやる。  
Q9 母親 60 仕事 35 制作 5  
Q10 実家に帰って活動しています  
Q11 家族の協力, 収入  
Q12 家庭がある以上、生活が優先なので、副業兼趣味の域にはなるが、もう少し長期で稽古が必要な作品をつくりたい  
Q13 子供ができるまで、その後のキャリアや生活について考えていない人が多過ぎる。女性である以上、子供を産むのなら必ず直面するであろう事については、もっと若い時から意識できると良い。

(回答 27)

- Q2 30代  
Q3 2人  
Q4 4～6歳 (未就学)  
Q5 美術系大学  
Q6 アーティスト  
Q7 それほど大きくは変わらないが、時間は限られるようになった。  
Q8 幼稚園へ行っている間や、両親に預けたりしている。あとは夜中。  
Q9 母親として 70、仕事・作家として 30  
Q10 個人事業主だと行政のサービスはほぼ受けられないので、両親はじめ家族の助けによって成立している。  
Q11 家族の協力, 収入  
Q12 その時になってみないとわからない。子育ては仕事と完全には切り離して考えられないし、子育てをしている自分が今の自分であって、今の自分にしか作れない作品を作りたいと思っている。  
Q13 子育て中の女性アーティストは一体何か大変なのか？ 子育て中の男性アーティストもいるけれど、彼らは大変ではないのか？ 自分が「アーティストだから」子育てが大変だと思った事はないし、子育てが大変だからアーティスト業が思うように出来なくて大変だと思った事もない。もちろん「子育て」は、大変なことだ。子育てにおいては、自分がどんな職業であろうと関係なくて、自分の肩書きが今までの経験が、子供の前では全く意味を成さない。自分がある意味ではぶち壊してくれる存在が子供。面白くて仕方ない。だから子育てしながら作品を作れることは、幸せな事この上ないことだと思いながら生きている。具体的な課題を言うならば、家庭において安定した収入があることが最も重要な点だと思う。

(回答 28)

- Q2 40代
- Q3 2人
- Q4 小学校1～3年生
- Q5 美術系大学
- Q6 カフェ店員 作家等
- Q7 はい 油絵の具が買えず絵を描くのはやめました
- Q8 寝ない
- Q9 母&妻 60 仕事 30 作家 10
- Q10 少し
- Q11 家族の協力, ひとりの時間, 収入, 体力
- Q12 店経営や今断っている時間帯の区切りなく仕事を受けてチャンスを逃したくない。
- Q13 産まない選択をした友人もいる。結婚をしないで描き続けている友人もいる。産んでなんとかかもがきながら母業をこなす仲間もいる。とにかく続けることだと頑張っています。

(回答 29)

- Q2 40代
- Q3 2人
- Q4 0～3歳
- Q5 美術系大学
- Q6 テキスタイルデザイナー
- Q7 出産直後は毎回一年ほど、作品は作る事が出来ないなので、仕事が激減した
- Q8 一時保育、今は保育園に行ってもらっている
- Q9 母親時間 80 仕事 20 作家 0
- Q10 仕事のクライアントは結婚する前の居住地からほとんど。結婚で仕事激減
- Q11 家族の協力, 収入
- Q12 仕事をもっとやりたい、収入が安定したらアーティスト活動をやりたい
- Q13 子供を預ける保育園が、自営業では点数が低く確保できない。3歳からの保育園に預ける為に、2歳から小規模保育園に入れ(点数の為)、外勤も始めた(点数の為)全ては点数の為に動かねばならない。

(回答 30)

- Q2 30代  
Q3 1人  
Q4 0～3歳  
Q5 美術系大学  
Q6 アニメーション・イラスト制作  
Q7 はい  
Q8 早朝と保育園に行ってもらっている間。週末は実家に預けることもあり。  
Q9 母親10 仕事85 作家5  
Q10 自宅で完結しています  
Q11 ひとりの時間, 美術に関係する仕事への就労  
Q12 個展など直接収入に結びつかなくても自分の表現を発表できる活動がしたい  
Q13 うちの夫が主夫なのでかなり時間のある方だと思います。ただその分、来年には第二子出産予定なのですが、私が働けない期間の収入が大問題となっています。とりあえず貯金でのりきりますが、国民健康保健は産後半年免除となりましたが、国民年金も免除にしてほしいです。私は産後に手がしびれる症状が出るため、復帰したくてもすぐには仕事に戻れません。それでも会社員の方よりはずっと早く復帰する予定ですが、取引先の方は理解ある人が多いですが、第一子出産後仕事を取り戻すまでにはやはり時間がかかりました。保育園も一時募集では落ち、奇跡的に二次募集で受かりましたが、家から遠く、往復45分、送り迎えで1日90分を使っています。高齢ながら双方の両親が元気なので、週末にかかる仕事もなんとか回しています。親が動けるうちに、と第二子に踏み切りました。片道1時間～1時間半かかるとはいえ実家が日帰りできる距離にあったのも幸運だと思っています。どんな立場の人でも、もっとじっくり休んでからでも安心して復帰できる社会作りが一番重要だと思っています。

(回答 31)

- Q2 30代  
Q3 4人以上  
Q4 4～6歳 (未就学)  
Q5 美術系大学  
Q6 彫金  
Q7 家の中でできる作業を、なるべく家族の見える場所でするようになりました。作業を途中で止められるように簡単に片付けられるようにして、また時間ができたときにすぐに作業に向かえるようにしまいこまずに目につく場所に途中経過のものを置いておくなどの工夫をしています。  
Q8 朝子供たちが起きてくる前の時間を使ったり、子供たちが学校から帰ってくる前の時間、あるいは寝た後に細切れでも作業の時間を作るようにしています。  
Q9 母親としての時間が50 仕事の時間が30 作家としての時間が20  
Q10 少ないですがあります。近隣美術館でのワークショップ開催やギャラリーショップへの作品納品など。  
Q11 家族の協力, 収入  
Q12 行動範囲を広げ、居住地にこだわらず活動したい。  
Q13 子供がいることで時間的に制限され、制作の時間が限られることはありますが、子供がいるからこそ感じられることや、気づくこと、生まれるモチベーションなども多くあります。家族の理解や協力に支えられて、子供たちの成長とともに変わっていく環境に柔軟に寄り添っていきたい。自分の興味や表現内容、または素材や技法が生活環境によって推移していくことがあっていいと感じている。子育て、仕事、制作が絶妙なバランスで且つどれも欠け難く、目まぐるしくも充実し、満足とまでは行かずとも続けていきたいと思える心持ちでいます。

(回答 32)

- Q2 30代  
Q3 2人  
Q4 0～3歳  
Q5 美術系大学  
Q6 美術教室  
Q7 変わりました  
Q8 子どもが寝た後  
Q9 母親 90 仕事 5 作家 5  
Q10 ある  
Q11 家族の協力, ひとりの時間  
Q12 美術教室を拡大したり、より多くの作品を作り、展示、販売したいです  
Q13 時間や場所、資金など制限があるなかでも、形にしばられず、自由に創ることを楽しみたいです。

(回答 33)

- Q2 30代  
Q3 3人  
Q4 0～3歳  
Q5 美術系大学  
Q6 教育  
Q7 変わりました。実母に子育てを手伝ってもらうため、他県から近隣に住んでもらっています  
Q8 早朝 4時ごろに起床。子供たちがおきてくる7時まで作品制作。基本的には子供、夫が寝ている時。  
Q9 母親 20 仕事 50 作家 30  
Q10 ありません  
Q11 家族の協力, 美術に関係する仕事への就労  
Q12 作品をたくさん作りたい。海外にレジデンスに行きたい。  
Q13 社会では、男性と同じレベルで成果を求められ、家庭に帰れば、良い母親、良い妻を求められる。結局は、男性によって苦しめられている。いくら家事を分担したとしても、子供の面倒など女性への負担が大きい。子育てしながら作品制作をすることは、かなりの覚悟がないと続けられない。  
子育てと作品制作、仕事のバランスに、女性は常に悩んでいる。作品制作は、趣味ではないので、きちんと仕事として男性には認識してもらう必要がある。

(回答 34)

- Q2 40代  
Q3 2人  
Q4 小学校1～3年生  
Q5 美術系大学以外  
Q6 ガラス  
Q7 それほど変わりませんでした。  
Q8 少ないながらも決まった時間を確保しています。  
Q9 母 35 仕事 50 作家 15  
Q10 あります。  
Q11 家族の協力, ひとりの時間  
Q12 もっと色々な国や場所に行ってみたいです。  
Q13 感情のバランスについて。私はヨガや瞑想を取り入れることによってだいぶバランスがとれてきたと思います。

(回答 35)

- Q2 40代
- Q3 1人
- Q4 0～3歳
- Q5 美術系大学以外
- Q6 事務職
- Q7 変わった。お金と自宅スペースが子供用に回る。体力と時間のなさ。
- Q8 確保できていない。
- Q9 45対45対10
- Q10 築いていけばあるがその余力がない
- Q11 ひとりの時間、短時間勤務が可能な職場
- Q12 公演に参加したい、他地域のアーティストインレジデンス企画に応募したい
- Q13 日本は仕事など社会活動の場が、男女および正規・非正規に分断され過ぎ。誰でも色々な顔を持ちうるようにしていきたい。

(回答 36)

- Q1 海外
- Q2 50代以上
- Q3 1人
- Q4 中学生以上
- Q5 美術系大学以外
- Q6 声楽家、教育、演出
- Q7 変わりました。
- Q8 寝る時間を削っています。或いは、子供を実家に送る。或いは人を雇って、面倒を見てもらう。
- Q9 母親30、仕事60、作家10
- Q10 在ります。
- Q11 ひとりの時間、収入
- Q12 また、子供が居なかった時のように、創作に没頭したい。
- Q13 子育て中だと、何といたっても時間の捻出と自分の体力が勝負。でも子供を育てるといことも作家として貴重な体験だと思うので、子供と一緒に生きながら気の向く方向に、気が乗ったら走るように創作していくのが子持ち作家の宿命と思う。

(回答 37)

- Q2 30代
- Q3 2人
- Q4 4～6歳（未就学）
- Q5 美術系大学
- Q6 教員
- Q7 作業時間が減った。
- Q8 寝る時間を減らす、土曜日に学童と保育園に預ける、日祝日に親、夫に子供の世話を頼む。
- Q9 母親35 仕事40 作家25
- Q10 比較的ある。
- Q11 家族の協力、ひとりの時間
- Q12 国内外遠方での研修や滞在制作。制作を中心とした生活に基づく精力的活動。
- Q13 出産前とは異なるかたちでの表現であっても、継続して発表する場を見出すことそれを支える環境。継続性の重要性を本人も周囲も理解すること。

(回答 38)

Q2 30代

Q3 2人

Q4 4～6歳(未就学)

Q5 美術系大学

Q6 陶芸

Q7 変わりました。工房は実家の庭にあるので出産してからは自宅から通う事になりました。

Q8 子供達が保育園、小学校に行っている時間のみです。展示会前の忙しい時は夜中や主人が休みの時に制作しています。

Q9 50/50 ちょうど半分くらいに感じています。

Q10 ありますが、地方ですのでやはりそんなに沢山は売れません。

Q11 家族の協力, 制作に対する気力

Q12 海外に行ってみたいです。

Q13 制作時間が少ないというのはもちろん問題ですが、それよりも主婦である感覚と作家である感覚が全然違う発想の中にあり、気持ちのコントロールが上手く出来ない事が一番辛いと思います。スイッチのオン、オフが上手く出来れば制作もスムーズに出来て短い時間でも作家活動は可能ですが、子供は待ってくれない、わがままを言う、小学生になれば児童クラブや習い事で更に忙しくなり、とにかく時間が奪われていきます。その中で作家として気持ちを高め続けるのは難しいです。

(回答 39)

Q2 50代以上

Q3 1人

Q4 中学生以上

Q5 美術系大学

Q6 中学生以上

Q7 変わりません

Q8 私と主人の実家が近かったので、目を離せない頃は預かってもらえたりしたので助かりました。

Q9 4・3・3

Q10 あります。

Q11 ひとりの時間, 制作意欲

Q12 現在のペースに慣れてしまっているので今特にビジョンはないです。

Q13 子育てというものはどうしても生活という現実がつきまとうものであり、制作活動をする際の思考とは離れてしまうことになり、たとえ時間ができたとしてもきもちの切り替えが難しい時がありました。

(回答 40)

- Q2 30代  
Q3 1人  
Q4 0～3歳  
Q5 美術系大学  
Q6 陶芸家  
Q7 変わりました。妊娠中までは自宅から離れた工房を借りていたが、出産後に自宅で制作できるよう自宅に工房を構えました。  
Q8 子どもが1歳半になってから保育所に預け平日の日中、土日は夫と交代で子守りをしどちらか1日制作できるようにしています。あまり出来ていないけれど夜子どもが寝てから1～2時間もしくは早く起きて朝1～2時間制作時間を作る。  
Q9 母親 50:作家 50  
Q10 工芸が盛んな土地なので活動しやすいと思います。  
Q11 子供がいる、いない、ということであまりわけてほしくない。  
大変ねーとがいわれることもあるが、子供ができた以上はいなくなるということはなく、子供のいる私の人生が続くだけだから、大変なのも承知だし、そのうえで仕事したいなとおもう。家族の協力、ひとりの時間  
Q12 自分の場合は生活費を稼ぐための仕事が作家業なので、より制作に時間をかけるとは思います。基本的には現在と変わらないと思います。  
Q13 子育てすることを作家自身がネガティブに捉えてしまうことが気になります。自分だけかもしれませんが、妊娠前、出産・育児について作家活動の妨げとなるイメージを強く持っていました。実際に人（男性）にそのように言われたこともあり。自分はなぜか出産などを出来るだけ公表しないようにしようと思っていました。子育て中の現在、ネガティブなイメージはなくなりました。妊娠出産育児の経験は、表現をする者にとって大きな影響を与えるものだと感じています。

(回答 41)

- Q2 40代  
Q3 1人  
Q4 0～3歳  
Q5 美術系大学  
Q6 作家、非常勤講師  
Q7 制作時間が劇的にない。ひとりで考える時間が減った。  
Q8 アシスタントを雇っている。夜中働く。家族の協力。  
Q9 50.25.25  
Q10 自宅にスタジオをつくったのでそこで作業ができる。生活が不安定なので、どこかで教員としてもっと安定した収入も得たいとも感じている。が、そうするとまた時間がなくなってしまいそうな気がする。  
Q11 家族の協力、ひとりの時間  
Q12 手が離れるとはあまりおもっていない。年齢なりのきっと手がかかるだろうし、見守りたいと思っている。なので、子供がいる、という暮らしが続いていくというイメージ。何才になろうとも母であり作家でありたい。制作することは、生活とはなれていないと思うし、作家としての仕事はlifeだとおもう。それは別々ではなくて、その体験を通して自分しかつくりだせない作品がつくりだせると信じている。でもそれを整理する時間（ひとりになることで、振り返ったり整理したりすること）はとても大切だとおもつ。  
Q13 子供がいる、いない、ということであまりわけてほしくない。  
大変ねーとがいわれることもあるが、子供ができた以上はいなくなるということはなく、子供のいる私の人生が続くだけだから、大変なのも承知だし、そのうえで仕事したいなとおもう。

(回答 42)

- Q2 40代
- Q3 3人
- Q4 4～6歳(未就学)
- Q5 美術系大学
- Q6 講師
- Q7 変わった。
- Q8 早朝や深夜
- Q9 母70 作家30
- Q10 ある
- Q11 収入, 美術に関係する仕事への就労
- Q12 海外活動中心
- Q13 男性優位のアート社会とボーイズクラブ

(回答 43)

- Q2 30代
- Q3 2人
- Q4 0～3歳
- Q5 美術系大学以外
- Q6 カフェ経営、文筆業、非常勤講師
- Q7 劇作品はほとんど作ることができない。
- Q8 保育園の間 /寝静まった頃
- Q9 98母そして妻 2作家
- Q10 ほとんどない
- Q11 家族の協力, 収入
- Q12 劇作品を年に一回発表する
- Q13 日本の岸田戯曲賞で子育てしていた女性は皆無 ホモソーシャルではセクハラ体質が非常に多い。

(回答 44)

- Q2 40代
- Q3 1人
- Q4 中学生以上
- Q5 美術系大学
- Q6 アーティスト、カメラマン、作家
- Q7 変わった。家事育児がすでにお金にならないので、お金にならない作家活動は生活のための仕事のあとになり、いつでも優先順位は最下位になった。
- Q8 子供が小さい頃は保育所に預けたり、両親に預けた。今は家族の協力が大きいですが、ずっと睡眠時間は削って仕事をしている。
- Q9 20, 60, 10
- Q10 とくにない
- Q11 ひとりの時間, 収入
- Q12 今まで削ってきた活動に時間を使いたい。例えば、展覧会の鑑賞とか、作品作りのための資料集めやリサーチになるような活動のための時間を確保することが一番難しかったのでそれをやりたい。
- Q13 無回答

(回答 45)

- Q2 40代
- Q3 2人
- Q4 小学校4～6年生
- Q5 美術系大学
- Q6 まちづくり
- Q7 自宅でやるようになった
- Q8 子どもに晩御飯を食べさせた後
- Q9 母親 40 仕事 20 作家 40
- Q10 自宅をアトリエにした
- Q11 家族の協力, 仲間の存在
- Q12 他の活動されてる方のところに尋ねていき、交流していきたい
- Q13 無回答

(回答 46)

- Q2 30代
- Q3 1人
- Q4 4～6歳 (未就学)
- Q5 美術系大学
- Q6 パフォーマンス
- Q7 稽古場に常に子供がいることになる。昼間の稽古時間を望むが、他メンバーの仕事等あるので、結果夜の時間の稽古になる。子供がいる、いない、子供の年齢、その家庭の方針などにより、稽古の調整が非常に難しい。全員女性のカンパニーなのでなおさら。
- Q8 基本的には稽古場でしかできない。頭の中の作業も子供が出来てからはなかなか集中は難しい。
- Q9 スケジュールにもよる。普段は母親 60 : 仕事 20 : 作家 20 程かも知れないが、公演がちかいときはもちろん変わる。母親 25 : 仕事 20 : 作家 55 だろうか。
- Q10 地元のダンサー達との活動もある。主要なダンス活動は東京ではあるが。
- Q11 家族の協力, 仲間の存在
- Q12 そこまでの、想像が付かない。今に手一杯。
- Q13 私自身はシングルなので、夫的な存在に頼ることはなく、実家や親戚などの家族に子守を任せることでどうにか活動しているが、やはり自由がきかないという点で、子連れのアーティストを敬遠する人達 (仕事を提供する側) も多いのでは?と思う。あとは、やはり1つのことをやり遂げるのに、子供がいないよりは相当な負担がかかる。自分しかり、周り然り。そのことを理解してもらえるかどうか。特にシングル家庭は金銭的な負担がこちらにかかることはなかなか出来ないなので、ある程度の収入があることしか実施できない為、アーティスト活動としての制限はあるかとおもう。一方で子供がいることで作家として豊かになる部分もたしかにある。

(回答 47)

- Q2 30代  
Q3 3人  
Q4 4～6歳（未就学）  
Q5 美術系大学  
Q6 TV、CMなどの音楽制作  
Q7 大きく変わりました。  
Q8 睡眠を削ります。授乳中に頭の中でアイデアを練ることもよくありました。  
Q9 子供がいない時より集中を高めて100を160まで伸ばします。母95%、仕事75% 両方から作家としての経験を得ます。  
Q10 ネットです。  
Q11 家族の協力、ひとりの時間  
Q12 離れてからでは遅いです。少しずつ子供と共に作家として(収入も)成長していき、離れるころには全開でありたいです。  
Q13 仕事に取り組むための戦うホルモンと、子供を育てるホルモンが真逆のもので、女性の身体の中でそのせめぎ合いが体調や精神にきたす影響を、科学的にもっと研究して広めてほしいと思います。スイッチの切り替わり時期に、体内の変化を実際に体験しました。

(回答 48)

- Q2 40代  
Q3 1人  
Q4 0～3歳  
Q5 美術系大学以外  
Q6 身体パフォーマンス、アートコミュニケーション企画  
Q7 変わりました  
Q8 まだ9ヶ月児。試行錯誤中です（寝ている隙、保育園へ一時預け等）  
Q9 母80、仕事10、作家10  
Q10 自分次第  
Q11 ひとりの時間、収入  
Q12 まだ想像できません。。  
Q13 作品の形態によると思いますが、替えがきかない、その人でなければ意味が無い場合でも、こどもの急病等は女性が看ることになるケースが多い。いわゆる勤務ではないので、保育園へ預ける際のポイントが低くなり、預けにくい。

(回答 49)

- Q2 40代
- Q3 1人
- Q4 中学生以上
- Q5 美術系大学
- Q6 アーティスト、日本画家
- Q7 アーティストとしての活動は子供を産んだのと同時に始めました。それまでフルタイムで勤めていて残業も多く平日はほとんど制作できなかったのですが、子供見ながらで大変でしたが毎日制作出来る環境は嬉しかったです。家で出来る仕事という認識でした。
- Q8 現在は息子が高校生なので普通のフルタイムと同じく日中仕事しています。子供が小さな頃は、保育園、実家の親、また当時夫が無職だったのでよく協力してもらっていました。
- Q9 仕事＝作家 50、母親&家事 40、女性を楽しむこと 10
- Q10 自宅にスタジオスペースがありそこで制作。発表はしていません。
- Q11 家族の協力, ひとりの時間, 収入, 間柄の存在
- Q12 息子が高校を卒業したら、文化庁の海外派遣に申し込みたいと思っています。
- Q13 課題は人それぞれなので一概には言えませんが、男女ともに子育て云々に関わらず、生活のため作家活動をやる理由はたくさんあらうように思います。私の場合はアーティスト活動を家で出来る SOHO 的な仕事として考えていたのと、作風のイメージから母親である事をあまりオープンにしていなかったのが、作家である時は母親を切り捨てて、私個人を優先できたのが精神的にもバランスが良く、長く続けてこれたのかと思います。子育ても終盤にきて、作家をしていない自分は想像もつかないので、家族の協力あってこそ、迷惑もたくさんかけましたし、経済の悪化で全く絵が売れない時期もありましたが、続けさせてくれた事を本当に感謝してます。個人的なことであまり参考にならないかもしれませんが、子供が小学生の頃 PTA で同じ係のお母さんに作家活動を知られて、名前を検索され画風がバレた時は本当に焦りました。最近はいじめにつながることもあるそうで、怖いですね。そのお母さんは笑ってくれて助かりましたが。

(回答 50)

- Q2 40代
- Q3 1人
- Q4 0～3歳
- Q5 美術系大学
- Q6 不動産業
- Q7 はい
- Q8 細切れ時間の活用
- Q9 それぞれ 1/3 ずつ
- Q10 はい
- Q11 家族の協力, ひとりの時間
- Q12 より集中して制作に励みたい
- Q13 育児中でも細く長く活動してます

(回答 51)

- Q1 海外  
Q2 30代  
Q3 1人  
Q4 0～3歳  
Q5 美術系大学  
Q6 無回答  
Q7 現在、子供がまだ1歳ということもあり、普段インスタレーションをメインに活動しているのですが、長期の搬入作業やレジデンスへの参加が難しくなりました。アトリエに行く時間もかなり少なくなりました。子供を連れて制作しようとしたこともありましたが、まだ1人で遊べる年齢ではないので、やはり集中して制作するのは難しく断念しました。今は、子供が寝ている時間に、家でできる範囲のことをやっているというのが現状です。  
Q8 現在、作品制作はほぼ休業状態です。来年の9月からは子供が保育園に通う予定にしている、その間の時間は制作にあてられる予定なので、そこから再スタートといったかんじです。  
Q9 母親 95%、作家 5%  
Q10 はい。海外在住で、アトリエも展示会場もたくさんあるほうだと思います。  
Q11 家族の協力、ひとりの時間  
Q12 しばらく先のことなので具体的には思いつかないのですが、日々の時間の中で感じたことを大切に、自分なりのペースで活動できればと思っています。  
Q13 無回答

(回答 52)

- Q2 30代  
Q3 2人  
Q4 0～3歳  
Q5 美術系大学  
Q6 中学校教員  
Q7 母になり多少凶太くなったのか...より自分が心地よい環境を探し求められるようになった。  
Q8 家族に子どもを見てもらう  
Q9 母 40、仕事 40、作家 30  
Q10 ある  
Q11 家族の協力、ひとりの時間、収入、仲間の存在  
Q12 ワークショップ  
Q13 ママさんアーティスト、母でいながらアーティスト、など父親の場合にはない表現に違和感

(回答 53)

Q2 20代

Q3 1人

Q4 0～3歳

Q5 美術系大学以外

Q6 ライター、イラストレーター

Q7 時間が限られるようになった

Q8 保育園に行っている間、子どもが寝た後の深夜

Q9 50:25:25

Q10 ある

Q11 家族の協力, 仲間の存在

Q12 もっとフットワーク軽く、時間や場所に制約を設けず自分のペースで仕事をしたり人に会う

Q13 周り(子どもがいる人もいない人も)と比べたり、周りの目を気にしたり、必要以上に敏感になってしまう人が多い